

第1回クラブ青少年交換委員長会議の報告

地区青少年交換委員長 北島 一樹

司会・進行： 地区青少年交換委員 村本 辰弘

13:00～13:30 登録受け付け

13:30 ガバナー一点鐘

13:30～13:35 地区役員及び地区委員の紹介 地区幹事

13:40～14:25 プログラムの意義と概要 地区青少年交換委員長 北島 一樹

【要旨】 派遣学生の任務は、親善大使として多くの人たちと交流しながら、相手国の文化・歴史・思想などを「学ぶ」ことと、自国のそれらを「伝える」ことの2つである。また、受け入れ側においても、お世話をしている学生から外国の人たちの考えや風習などを「学ぶ」ことと、お世話を通じて日本のそれらを「伝える」ことの2つの側面を持っている。伝えるべき日本が問われているプログラムでもある。戦後60年を経た今、学校教育、家庭教育において、見直さねばならない点が多くある。が、子供たちは、幾多の苦難を乗り越えてきたこの日本に生まれ育ち、日本人としてのDNAを持っている。決して悲観することはない。

14:25～14:40 長期交換について 地区青少年交換委員 吉岡 宏明

【要旨】 長期交換は、高校生を対象に1年間、外国の家庭でホームステイしながら現地の高校に通うプログラムである。毎年、8月に派遣と受け入れを行い、その翌年の7月に帰国する。交換学生はロータリアンの子弟であるかどうかを問わない。費用の負担については、学生は往復の旅費とそれに付随する若干の費用のみの負担のみである。派遣先では、滞在費のすべてを受け入れロータリークラブが負担する。また、毎月、お小遣いを支給されることになっている。派遣先としては、アメリカ、カナダ、メキシコ、ドイツ、タイ、インドなどがある。

14:40～14:55 短期交換について 地区青少年交換委員 加藤 彰宏

【要旨】 短期交換は、7月の初旬に海外からの学生を3週間程度受け入れ、その学生と一緒に、日本の学生が海外に渡航するプログラムであり、学校とは関係なく、Family to Familyで行われる交換プログラムである。ロータリアンの子弟でも参加できるので是非お考えいただきたい。最近の交換相手国は、アメリカ、カナダ、オランダ、フランスである。

<10分間の休憩>

14:05～15:35 質疑応答 出席者全員

【要旨】

- ・派遣国は、どこかの国に偏るのではなく多くの国と交換がなされるべきである。
- ・欠席ロータリークラブが若干見受けられるが、地区委員会から強力に出席要請をすべき。
- ・以前お世話をした学生がしきりと繁華街に行きたがって苦勞した。地区において、指導をお願いしたい。

等々

15:35～15:45 総括的アドバイス カウンセラー講評 国際奉仕部門カウンセラー 亀岡 弘

このプログラムの重要性については、本日の会議で出尽くしたように思う。是非、今後ともご協力をお願いしたい。

15:50～15:55 ガバナーエレクト講評 ガバナーエレクト 三軒 久義
このプログラムがしっかり運営されていることが分かる会議だった。

15:55～16:00 ガバナー講評 ガバナー 平尾 寧章
若者を育てるこのプログラムに今後とも理解と協力をお願いしたい。長時間にわたる会議に最後まで熱心にお付き合い下さった皆様に感謝します。

16:00 ガバナー点鐘

以上

